

基本問題 <小学校5年 「計算のきまりを使って」>

年 組 号 名前

1 右の表の計算のきまりを使って計算し、
 の中に、答えと使った計算のきまりの記号をかき
 ましょう。
 また、計算のと中の式も、かきましよう。

表 計算のきまり

- (ア) $(\square + \circ) + \triangle = \square + (\circ + \triangle)$
 (イ) $(\square \times \circ) \times \triangle = \square \times (\circ \times \triangle)$
 (ウ) $(\square + \circ) \times \triangle = \square \times \triangle + \circ \times \triangle$
 (エ) $(\square - \circ) \times \triangle = \square \times \triangle - \circ \times \triangle$

(1) $3.6 + 2.7 + 0.3$

(2) $(10 - 0.2) \times 5$

答え 計算のきまり

答え 計算のきまり

(2) $3.7 \times 6 + 5.3 \times 6$

(4) $45 \times 2.5 \times 4$

答え 計算のきまり

答え 計算のきまり

2 にあてはまる数を書きましよう。

① 40×9.9
 $= 40 \times (\text{ } - 0.1)$
 $= 40 \times \text{ } - 40 \times \text{ }$
 $= \text{ } - \text{ }$
 $= \text{ }$

② 2.5×12
 $= 2.5 \times \text{ } \times 3$
 $= \text{ } \times 3$
 $= \text{ }$

3 わり算のきまりを使って計算します。 にあてはまる数やことばをかきましよう。

$4.8 \div 0.25 = 19.2$
 $\downarrow \qquad \qquad \downarrow$
 $(4.8 \times \text{ }) \div (0.25 \times \text{ }) = 19.2$
 $\downarrow \qquad \qquad \downarrow$
 $19.2 \div 1 = 19.2$

わり算は、わられる数とわる数に
 をかけても、わり算の答え
 は同じになります。

基本問題 <小学校5年 「計算のきまりを使って」>

答 え

1 右の表の計算のきまりを使って計算し、の中に、答えと使った計算のきまりの記号をかきましょう。

また、計算のと中の式も、かきましょう。



【ポイント】

- ・計算をすると、10 や 100 のような整数になるところはないかを考えよう。
- ・ 25×4 , 2.5×4 , 8×25 などの計算は、よりかん単に計算できるポイントなので使えるようになろう。

$$\begin{aligned} (1) \quad & 3.6 + 2.7 + 0.3 \\ & = 3.6 + (2.7 + 0.3) \\ & = 3.6 + 3 \\ & = 6.6 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (10 - 0.2) \times 5 \\ & = 10 \times 5 - 0.2 \times 5 \\ & = 50 - 1 \\ & = 49 \end{aligned}$$

答え

計算のきまり

答え

計算のきまり

$$\begin{aligned} (2) \quad & 3.7 \times 6 + 5.3 \times 6 \\ & = (3.7 + 5.3) \times 6 \\ & = 9 \times 6 \\ & = 54 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & 45 \times 2.5 \times 4 \\ & = 45 \times (2.5 \times 4) \\ & = 45 \times 10 \\ & = 450 \end{aligned}$$

答え

計算のきまり

答え

計算のきまり

2 にあてはまる数を書きましょう。

① 40×9.9

$$\begin{aligned} & = 40 \times (\text{10} - 0.1) \\ & = 40 \times \text{10} - 40 \times \text{0.1} \\ & = \text{400} - \text{4} \\ & = \text{396} \end{aligned}$$

② 2.5×12

$$\begin{aligned} & = 2.5 \times \text{4} \times 3 \\ & = \text{10} \times 3 \\ & = \text{30} \end{aligned}$$

計算のきまりを使って工夫して計算すると、かんたんに答えを求められるね。

3 わり算のきまりを使って計算します。にあてはまる数やことばをかきましょう。

$$\begin{array}{ccc} 4.8 & \div & 0.25 & = & 19.2 \\ \downarrow & & \downarrow & & \\ (4.8 \times \text{4}) & \div & (0.25 \times \text{4}) & = & 19.2 \\ \downarrow & & \downarrow & & \\ 19.2 & \div & 1 & = & 19.2 \end{array}$$

わり算は、わられる数とわる数に をかけても、わり算の答えは同じになります。